北海道札幌工業高等学校 - SAPPORO TECHNICAL HIGH SCHOOL - 第１号（R8.11.17）



発行の趣旨

本校は、文部科学省の「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」の改革先導拠点校に採択され、高度化する地域産業への就職と工科系大学への進学の双方に対応できる教育機能を備えた次世代工業高校モデルの構築に取り組んでいます。

そこで、本事業における教育改革の内容やその成果を、教育関係者や産業界関係者はもとより、中学生やその保護者等に広く発信するため、令和10年度末までの期間、定期的に本通信を発行することとしました。

道内の高校改革を牽引する本校の取組について、視察の御希望や御質問等がある場合は、お気軽に本校地域連携推進室（次ページに掲載）まで御連絡ください。

なお、本事業の詳細や日々の活動の様子は、本校Webページのほか、公式noteや公式Instagramにも掲載していますので是非御覧ください。

公式Instagram

公式note

人材育成における課題

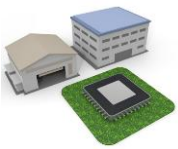
本校では、経済産業省等の公表資料を踏まえ、人材育成における課題を次の３つに整理しました。

課題01



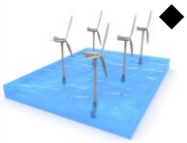
◆本道では2040年に工業高校卒業者が5.7万人不足見込み
◆道内産業の中核を担う高度現場人材の育成は必須

課題02



◆Rapidus株式会社の進出に伴う半導体関連産業の集積に対応する人材育成が急務

課題03



◆洋上風力発電や航空宇宙産業など、新たな産業が集積
◆最先端の技術や専門性の高度化に対応した人材育成が必要

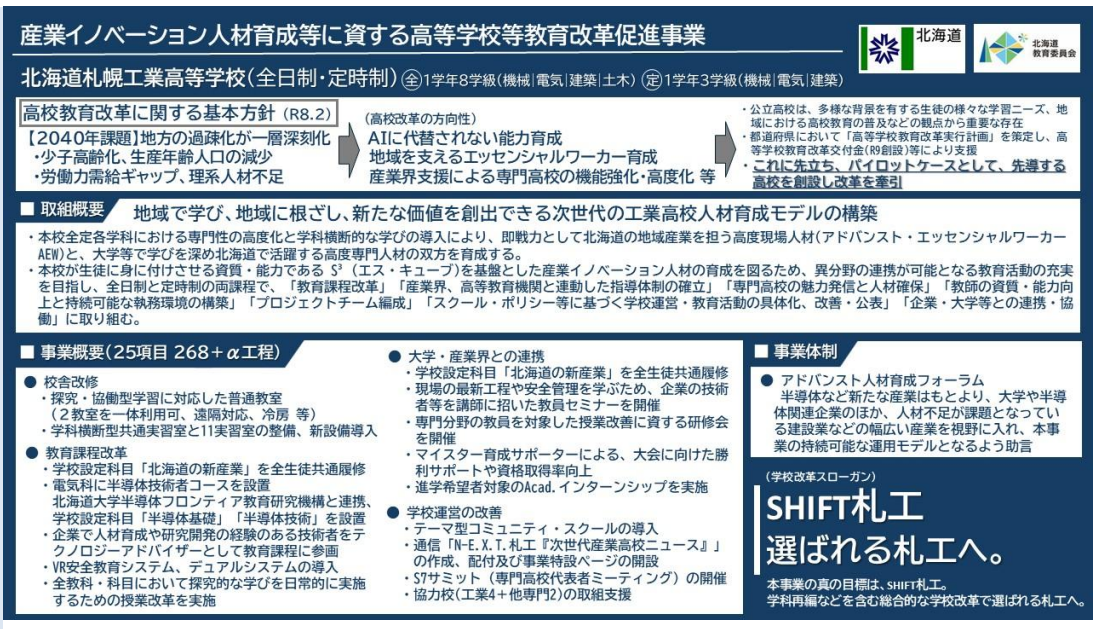
事業概要等

本事業では、上記の課題解決に向けて、右図のとおり、校舎改修や最新実習設備の導入に加え、半導体コースの新設や、本道の新産業を学べる学校設定科目の新設など、多岐にわたる取組を通じて、地域を支えるアドバンスト・エッセンシャルワーカーを育成していきます。

なお、「S³」とは、本校が生徒に身に付けさせる３つの資質・能力を表しています。



３つの資質・能力



事業概要図（札幌工業高校）

本校が目指す「高度人材キャリアパス」

本校が育成を目指す人材像を、高度人材として、下図のとおり２つに整理しました。どちらの人材を目指すにおいても、生徒は卒業後、本校で身に付けた「S³（前ページ下段に掲載）」を生かしてキャリアを歩んでいきます。
なお、図中にある「テクノロジーアドバイザー」とは、テクノロジー（科学技術や工業技術）についての知見を有し、出前授業や教員研修の講師などを通じて本校の教育活動に協力いただける方々を表しています。



高度人材キャリアパス（イメージ図）

高校改革の取組紹介

ここでは、本校が取り組んでいる高校改革のうち、教育界や産業界の関係者にとって参考となる事例を簡単に紹介します。詳細については、学校Webページや公式noteを御覧ください。

改革01 洋上風力発電施設等の見学

全日制電気科の２年生が洋上風力発電施設等を見学するバスツアーを実施しました。

洋上風力発電分野で働いてみたいと回答した割合 86%
※「とても思った」「思った」「少し思った」の回答を合計


風車を見学する生徒

改革02 半導体工場の見学

生徒12名が株式会社SUMCOの千歳工場を見学しました。
クリーンルームにも入室し、生徒からは「生産工程の仕組みを知ることができて、将来働きたいと思えた。」や「普段使う電子機器を支える半導体への関心が高まった。」などの感想が寄せられました。


クリーンスーツを着用する生徒

改革03 地域連携推進室の開設

地域や産業界との連携をこれまで以上に充実させるため、校内に「地域連携推進室」を開設しました。
電気工事士や半導体技術者検定等の資格指導のほか、ロボット競技大会等の各種コンテスト入賞に向けた技術指導等に協力いただくことで、本校の教育活動の一層の充実を図っていきます。



リーフレット

改革04 入試相談室の開設

中学生やその保護者、中学校教員からの入学者選抜についての相談に加え、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）の理解促進などを目的として、「入試相談室」を開設しました。
中学生やその保護者からの直接の相談も受け付けており、各学科の特徴なども詳細に説明していきます。



リーフレット

【発行】北海道札幌工業高等学校　TEL 011-727-3341
スクール・ミッション「テクノロジーで 未来を創る 人づくり」
学校改革スローガン「SHIFT札工 選ばれる札工へ。」